

研究協力のお願ひ

この度、当院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科大学附属病院

循環器内科

記

研究課題名：心筋シンチグラフィを用いた診断能および心臓機能評価に関する研究

研究の意義：心筋シンチ検査は心疾患の診断に広く使用されている方法ですが、その画像にはアーチファクトがあり、しばしば診断に影響を与えます。近年、心筋シンチの散乱画像を用いる方法 (SSPAC 法) が開発され、臨床応用が期待されます。また、心筋壁運動の壁運動異常の客観的、定量的な診断は、心疾患の病態評価や治療法の選択に役立つと考えられています。

研究の目的：本研究では、心筋血流シンチでのアーチファクト軽減画像の評価および QGS (Quantitative Gated SPECT) 法による左室局所壁運動および代謝の定量評価を行い、その有用性を確立することを目指しています。

研究の対象：2013 年以降に心筋シンチグラフィを受けられた虚血性心疾患および心筋症の患者様

研究の方法：通常の検査から得られた画像より、コンピューター上で、定量的解析を加えます。それらと臨床検査と比較検討を行います。

※ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください。申出された場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

※対象者の方の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

※本研究にて取得しました試料・情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者 (森田 英晃) が利用いたします。

研究期間：倫理委員会承認後～2021 年 9 月 30 日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

あなたの診断、治療内容、検査結果などが、この調査のために利用され、また個人を特定できない形で集計されます。その結果が学会、医学誌などに公表されることがありますが、あなたのプライバシーは厳しく守られますので、ご安心ください。

個人情報取り扱いに関する相談窓口： 循環器内科 神崎 裕美子
利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名： 循環器内科 星賀 正明
循環器内科 神崎裕美子
循環器内科 宗宮 浩一
循環器内科 伊藤 隆英
循環器内科 山内 洋平

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学附属病院

循環器内科

担当：神崎 裕美子

TEL 072-683-1221(代表) 内線 6438